

ccTLDの動向

2006年7月19日(水)
第16回ICANN報告会

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

堀田博文

<http://堀田博文.jp/>

ccTLD関連会合

ccNSO会合 (6月26日 ~ 27日)

- ICANN事務総長とチェアより
- IDN TLDについて
- ICANNの地域分割について
- 指名委員会 (Nominating Committee)より
- 予算WG
- 幾つかのccTLDからの現状報告
- ccNSO選出理事より
- 技術情報共有WG
- IANA WG
- ccNSO事務局設置について
- インターネットガバナンスフォーラムについて

ccNSO Council (6月28日午前)

ccTLD会合のトレンド

- **議論がさらに進化**

ccNSO関連定款の改定により、ccNSOに加盟して内からICANNをよくしようという傾向が加速

事務的議論よりも中味の議論にさらに移行

- IDNが自らの問題に
- 技術検討WG発足

- **ICANN予算への寄与に関する議論が前進**

トピックス (1)

- AfTLD
 - アフリカのccTLD連合組織が発足
 - ccTLDモデル紹介を日本(.JP)からも実施
- ICANN事務総長(P)とチェア(V)から
 - P Accountability frameworkの進展を評価
 - P IANAサービスでのccTLDとの協力関係を評価
 - P IDNに関し、
 - IETFとも協力しての技術検討と技術実験計画の進展を歓迎
 - ccNSOとGNSOの合同WGの設立とcc用IDN TLD検討開始を歓迎
 - P ICANNの透明性と情報アクセス可能性を重視する。この中で、情報ポストだけではコミュニケーションと呼べないことにも自ら言及。
 - V WHOISについては、まだまだ議論がある
 - V GACは、さらにパブリックポリシーに興味を持ってきた。ccNSO や他組織とのコミュニケーションがうまく回り始めたことを評価

トピックス (2)

- IDN TLD
 - ポリシーとするための課題リスト案についてgNSOと共有
 - ccNSOとしてどう取り組むかこれから検討
- 予算WG
 - 2004-2005年度、約100万ドルがccTLDコミュニティから支払われた
 - Accountability Frameworkでは支払いについても記されている
 - 支払額は各ccTLDが決めるものであるが、そのときに参考となるパターンをWGが検討することとなった
- 技術情報共有WG
 - 大規模～小規模ccTLDそれぞれに向けたベストプラクティスを作る
- IANA WG
 - IANAの業務処理は速くなっている
 - さらに速く確実にすべく仕組みを構築中 - これにはccTLDも参画